

【中国】

3-4 月の市場動向トピックス

- 2021 年 3 月の訪日中国人数は、2019 年同月比 99.4%減の 4,000 人であった。
- 2021 年 4 月の訪日中国人数は、2019 年同月比 99.5%減の 3,300 人であった。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本政府による 14 日間の隔離、査証の効力停止等の対象となっている。2020 年 4 月 21 日以降、中国政府外交部より海外旅行自粛の指示が出されていることから、観光客の渡航は実質的に不可能な状況が続いている。国際的な人の往来再開に向けた段階的措置として 11 月 30 日から運用が開始された「レジデンストラック」及び「ビジネストラック」は、2021 年 1 月 14 日、緊急事態解除宣言が発せられて以降運用停止となり、宣言解除後も当分の間は停止が継続されている。自国民の日本からの入国については、14 日間の施設での隔離等が求められている。日本への直行便は、3-4 月も引き続き大幅な運休・減便であった。

3-4 月の主なプロモーション活動

● 中国における訪日旅行促進プロモーション

中国大手メディアである新浪網と連携し、1 月末から 3 月中旬にかけて中国で影響力の大きいインフルエンサーを活用したキャンペーンを実施、SNS を中心に話題性の醸成を図った。#日本不見不散(日本必ず会いましょう) #というハッシュタグを付けて日本旅行の思い出を投稿するプレゼントキャンペーンやインフルエンサーが日本旅行の思い出やお薦めの観光地を紹介するトーク番組の生配信を行った。ハッシュタグ付き投稿の閲覧数は合計で 3 億人を超え、キャンペーン期間中に JNTO の微博では 13 万人以上のフォロワーの増加に繋がった。また、3 月にはインターネット上で動画視聴者に対しアンケート調査を実施したところ、今後の海外旅行の際に重視する条件は、「目的地の感染者ゼロ」が最も高く、「ワクチンの普及」「隔離免除」が続いた。



#日本不见不散#ハッシュタグページ



配信動画

● 中国における訪日旅行ウェビナーの実施

3 月 10 日に旅行会社向けウェビナーを開催し、211 名が参加した。新型コロナウイルス感染収束後の訪日旅行の興味喚起、販売促進を図るべく、『コロナ収束後、訪日旅行の需要分析及び深度遊案内』や『日本における最新のラグジュアリートラベル市場分析』といったテーマについて講演した。実施後のアンケートでは、訪日旅行のツアー造成及び販売促進の再開時期について、50%以上の回答者が「出入国制限が解除されればすぐ」と回答した。



ウェビナーロゴ



講演の様子